



第78回

## 「役者見立東海道五十三駅展」

慶長9年（1604）

に幕府は日本橋を起点に5街道を定めました。その目的は、全国支配と物資の流通を図るためでした。

特に東海道は重要な街道で江戸と京・大阪を結び、参勤交代をする東海、近畿、中国地方の大名が利用しました。東海道は53の宿場が定められ、各宿場には宿泊施設、馬や駕籠<sup>かご</sup>を借りる間屋場、休憩所などの施設がありました。文化・文政年間（1804～29）以降、太平を謳歌していた庶民が容易に旅行に行けるようになると東海道を利用し、お伊勢参りが盛んに行われるようになりました。旅行に行けない人たちは、錦絵を鑑賞し描かれている旅人になったつもりで旅を想像しました。東海道シリーズは天保4年頃に歌川広重が制作した「東海道五拾三次之内」が最も有名ですが、その後「東海道シリーズ」は様々な絵師により描かれました。内容も1枚の中にいくつもの宿場をまとめた作品や街道風景と美人や役者を組み合わせた作品など様々な作品が考えられ出版されました。

今回出品する「役者見立東海道五十三駅」は三代歌川豊国が描いた作品です。出版期間は嘉永5年（1852）2月改印から翌年1月改印までの1年間で大判揃物140枚といわれています。当初は正編として55枚で終わる予定でしたが、好評のため続編、間の宿や2枚続きなどが追加されました。

三代豊国が最も円熟した時期の役者絵です。構図は手前に役者の姿、背景の上部雲で仕切られた部分



「日本橋松魚売」（川崎・砂子の里資料館蔵）

に風景が描かれています。当時どの役者の人気が高かったか知る機会になるとと思います。役者の見得を切った姿をご堪能いただければ幸いです。

馬頭広重美術館長 市川信也

【会 期】3月9日(金)～4月15日(日)

【開館時間】午前9時30分より午後5時まで  
(但し入館は午後4時30分まで)

【休 館 日】月曜日

【入館料】 大人 500円(450円)  
高・大学生 300円(270円)

※( )は20名以上の団体料金

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

### ミニギャラリー 作品募集！

あなたの作品を出展してみませんか？

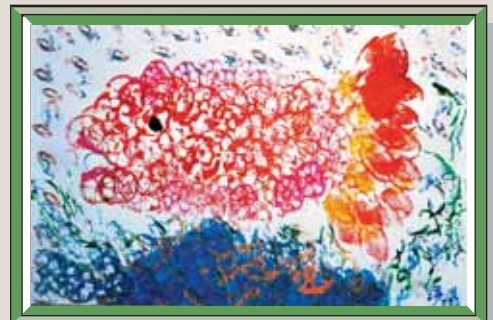
写真、絵画、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問い合わせ：  
企画財政課広報広聴係

☎0287-92-1114



平成22年度那珂川町観光協会写真コンテスト  
最優秀賞「里の春雪」 和泉一雄さん(小川)



第7回那珂川町版画コンクール  
町長賞「およぐさかな」 宮原大希くん(馬頭1年)